

## 「全国日蓮宗女性教師の会」発足のいきさつについて

大島 豊扇

「全国日蓮宗女性教師の会」は、平成17年4月26日に日蓮宗宗務院にて管区代表者会議を開催し会発足と成りました。ここに至るまでには当省会発足の為に動いてくださった発起人の女性教師の方々のご協力と、当時の伝道部長でいらしゃった田端義宏上人のご指導・ご協力があったからこそと感謝いたしております。



この会発足に至る以前に、現代宗教研究所の当時の主任でいらしゃった影山教俊上人が女性教師の質の向上を図るために、今は亡き石川教張先生にお願いして、ご指導頂く勉強会が開かれていて、私も途中から参加させて頂きました。その折に参加者のお一人であった信行道場副主任の経験のある山田妙眞上人が、「道場を出て教師となった人達はその後どんな生活をしているのか、追跡調査をしたい」という意見を述べられ、それは良いことだと皆も賛成し、現在教師の資格を取得している人にアンケートを取ろうという事になりました。宗務院の僧籍課の方達にもご協力頂き一万通近い数の封書を発送にこぎ着けることが出来ました。返信されたアンケートは発送数の半分に満たなかったと記憶しておりますが、これが初めての日蓮宗女性教師に対するアンケート調査としてその後その冊子は役立ったように記憶しております。この時のメンバーが、後に女性教師の会発足時の発起人となってくださいました。

女性教師の会発足については、アンケート調査の件とは別に、平成15年に現宗研囑託、アンケート調査のメンバーであった山田妙眞上人と御一緒になり、かねてから考えていた「女性教師に適した草の根的な布教活動をしたいね。」と話す事が多くなり、当時現宗研研究員であった札幌市の伊藤美妙上人、厚木市の宇都宮恵禎上人の4人でその夢を膨らませていきました。当時の現宗研の主任であった伊藤立教上人や影山上人は、宗務院の組織の中に女性室を作りたいというお考えのように記憶しておりましたが、私達は宗門の組織に捕らわれることなく自由に活動できる任意団体として活動したいと考えていて一つにはなれないと思っておりました。私達4人の気持ちも平成16年には固まり、会を組織することを具体的に考え始めました。会には会則が必要と考え、福島県宗務所の会則や、全日青の会則を参考にしてたたき台を作りました。私達4人だけでは会の組織としては全国には広がらない。西の方の人にも発起人になってほしいという事から信行道場の訓育部に携わって、多くの教え子を育てられた遠藤光省上人、松田英秀上人にもお手紙にてお願いし賛同して頂き平成17年3月に池上の朗子会館にて顔合わせして、会則の検討や意見交換をし、会長には北海道西部の伊藤美妙上人・副会長に京都府第一部の遠藤光省上人・千葉県西部の山田妙眞上人・事務局長に福島県の大島豊扇・会計に神奈川県第三部の宇都宮恵禎上人・会計監査に兵庫県西部の松田英秀上人・同千葉県南部の亀井妙禮上人という内局に前出のアンケート調査のメンバーも加わって頂き発起人11人にて全国の宗務所長様に会発足の御挨拶状をお送りしました。

当時は、「日蓮宗に尼僧法団があるのに何故新しく女性教師の会を創らなくてはならないのだ。」という批判も聞かれました。尼僧法団の方達と話し合いを持ちたいと考え伝えましたが未だに実現

しておりません。

私個人では色々な尼僧さんの会があっても良いと思っております。目指すところは一天四海皆帰妙法ですから。登り口が色々あっても良いのではないかと。

かくして「全国日蓮宗女性教師の会」は発足致しました。会を組織するにあたり当時の伝道部長でいらっしゃった田端義宏上人からの「組織は全国組織にして各管区に代表者を置かないと残っていけないよ」という御助言が大変でしたが、今となってはありがたく感謝しております。感謝といえばもう1つ、平成17年8月30日に宗務院にて初めての総会を開き、午後1時半より当時池上本門寺執事長でいらっしゃった早水日秀上人の御厚意により、本門寺大堂で発会奉告式を厳修し、朗峰会館にて懇親会をさせて頂きました。当時の参加者数・81人。このように会員が集まったのはこれが初めてでした。奉告式の法要の時に早水先生が、式衆でない人は道服でしたが「皆結界の中に入りなさい。発会奉告式とはそういうものなんだ。」とおっしゃって下さり、全員が結界の中に入り、共にお題目をお唱えさせて頂きました。本当に感動で胸が熱くなりました。早水先生のお言葉でこんなに感動的な奉告式になり心から感謝申し上げます。以上が会発足当時のことがらです。

## 全国日蓮宗女性教師の会 — これまでの活動と今後の展望 —

全国日蓮宗女性教師の会 会長 山口蓮香

現在、全国日蓮宗女性教師の会は、法要部・社会活動部・広報部と部会を作り、各々の活動をしています。教師の資質向上をするための研修をはじめ、身延山において、年に一回の女性教師先師法要、輪番奉仕、また、各方面様々な講師をお迎えしての公開講座等を行っています。

輪番奉仕では、自坊の檀信徒を連れて行く時のために、その時の参加者の中から導師を交替で経験しています。

そのような中、平成23年に起きた東日本大震災では、釜石の仙寿院さま、大槌町の蓮乗寺さまのご協力、仮設住宅での傾聴活動、慰霊法要など、10年間行ってきました。

仮設での法要・傾聴活動では、被災された方々と参加した女性教師とがカラオケや足つぼマッサージなどを行い、楽しく過ごして、最後には私たち教師が力をいただいて帰ることが多かったです。

滋賀県の喜登閣教会においても、女性教師の有志による東日本大震災慰霊法要・バザー音楽のつどいも続けていきました。

その後も自然災害、人的災害も各地で起き、その度に各部長を中心に女性ならではの細かい気づきや速さで、現地の女性教師の会員などから情報を得、把握し必要な備品等の調達・発送をしました。

令和に入りすぐにコロナ禍になり、活動自粛も多くなりました。その様な中で情勢を見ながら、

